

## ハイビスカス ルナ・シリーズ

ピンチなしでダイナミック、かつ豊かな分枝が得られるハイビスカス

- ルナは、店頭では高い訴求効果が期待できる品種。また生産においても時間と費用を節約できる一挙両得の商材です。ふつうの実生ハイビスカスとは差別化できる豊かで見事な分枝を得られます
- ルナは夏場、休まずに大輪花をつけて、長く人目を引くハイビスカス。露地定植では高いパフォーマンスを示します。花壇では丈が 60 から 90cm、株張は概ね直径 60cm
- 夏期では播種後 13 から 14 週、春は 16 週で花が上ってくるハイビスカス
- 矮化剤によく反応する植物です
- ルナは、パンアメリカン・シードで掲げている「Hot Summer Survivors(真夏に出荷できる品目群)」の1つでもあり、花壇で一度、活着すると高温にとっても強い品種です
- 低温でも根が枯れず、USDA の Zone5地域(冬場の最低気温がマイナス 15°C前後)でも根を残します。越冬後の株は 5 月頃まで休み、7 月中旬くらいに再び開花し、秋口の気温の低下とともに花数が減り、また休眠、越冬します

### ルナ・シリーズの花色:

- レッド・・・濃いバーガンディレッド。花径は 17-20cm
- ピンクスワール・・・ホワイト地にピンクのシェード入り。花径は 15-18cm
- ローズ・・・大輪の早生品種。花径は 20cm 弱でシリーズでは最大
- ホワイト・・・ホワイト(中央に赤目)。花径は 13-15cm

学名: *H. moscheutos*

種子粒数: 100 粒/グラム

### 発芽ステージ

#### 培地

水はけがよい、新しいピート主体の培地を用いる。pH は 5.5 から 6.3 の酸・弱酸性に保ち、初期の EC は 0.75mmhos/cm(1:2)とする

#### プラグトレイサイズ

トレイサイズは 200 穴を推奨している

#### 播種

播種後、覆土する。播種後は、発芽チャンパーでもベンチの上でも育苗が可能。チャンパーの場合は、幼根が現れたら徒長を防ぐためにも、できるだけ早くチャンパーから外へ出す

#### 発芽温度

20 から 24°C で発芽する。発芽に時間はかかるが、低めの温度の方が、よく揃う

#### 湿度

用土の水分が散逸しないよう注意する。空中の相対湿度を高くする必要はない

#### 照度

ステージ 1 の段階では照度コントロールは不要

### 発芽プラグ生産ステージ

#### 温度

発芽後、鉢上げまでのステージでは気温を 20 から 24°C に、地温は 20°C を維持する

#### 照度

とくに電照等を用いなくとも普通に生育するが、電照すると生産期間を多少、短縮させることが可能

#### 肥料

幼根が発根してから、50 から 75ppm(N)の濃度で施肥する。葉枚数の増加と株の生育を見ながら、100 から 150ppm(N)に濃度を上げていく

#### 培地の乾湿

土は湿潤状態を維持する。苗を枯らせないように注意する

#### 矮化剤(PGR)

必要に応じて、播種後 10 日でサイコセルを 300ppm 散布する。この処理によってプラグ苗の丈を約 50%に抑制が可能。また無処理のもの比べると葉色がいくぶん濃くなる

### 鉢上げから出荷までのステージ

#### コンテナサイズ

ルナ・シリーズは、12 から 15cm、あるいは 20cm、またそれよりも大きめのコンテナを使用することを奨励している

#### 培地

水はけがよい、無菌の新しいピート主体の培地を用いる。pH は 6.0 から 6.5 酸・弱酸性に、また初期の EC 値を 0.75mmhos/cm(1:2)に維持する

#### 生育適温

夜間: 20 から 21°C

昼間: 21 から 26°C

※ 高い温度の方が、生育期間が短くなる。20°C を割らないように管理する。温度が下がるとクロロシス葉害の発生など生理障害が現れやすくなるので注意

## 照度

照度はできる限り高くして、直射日光下で最もよく育つ

## 日長環境

ハイビスカス・ルナは、花芽をつけるには最低 12 時間の日長が必要。日長が 14 時間以上になると開花が加速化される。短日で花芽をつけさせるには、電照による補光が必要となる

## 水やり

培地を乾かさないようにする。常に培地が湿ったの湿潤状態を維持し、株を枯らさないように注意する

## 肥料

週に 1 回程度、各栄養素を含んだ汎用タイプの肥料を 200 から 250ppm(N)の濃度で与える

## ピンチ

ピンチは不要。ルナ・シリーズは、ピンチをしなくともよく分枝する

## 矮化剤(PGR)

パンアメリカン・シード社の試験施設(アメリカ・イリノイ州)では、B ナイン 2,500ppm と、サイコセル 750 から 1,000ppm のタンクミックスによる効果が確認された。移植後 2 週で、まず 1 回目のかん注を行う。必要であればその 2 週後にもう一度同じ濃度でかん注する。これはあくまでも、矮化剤使用の一例であり処理に際しては各自がハウストライアルすることを奨励している

## 管理中の病害虫や障害

病虫: スリップス、アブラムシ、ハダニ等

病気: 典型例はとくになし

## 平均的な生産期間

発芽ステージ: 3-5 日

播種から鉢上げ(200 穴トレイ): 3-4 週

鉢上げから出荷(開花): 5-6 週

トータル期間(15-20cm ポット): 12-16 週

## 花壇定植後

ハイビスカス・ルナは、日あたりのよい場所(6 時間以上の直射日光があたる)を好む。植え込むまれたルナ・シリーズの株は、60 から 90cm の丈で、また横幅 60cm ほどできれいに揃いので、ヘッジプランツとしても使いやすい品種です。また大きめのパティオ・コンテナなどでもユニークな草姿を展開されます。水と汎用タイプの肥料を定期的に与えることが大切。葉がライトグリーンになった時は、肥料が足りない徴候です